

地球の「いきいき」のために

環境会計

当社独自指標である緑字決算を公表します。

また、環境会計ガイドラインに基づく環境会計を当社のウェブサイトで開催しています。

緑字決算

環境活動の成果を独自指標で評価

企業は、原材料やエネルギーを利用したり、廃棄物や温室効果ガスを排出するなど、地球環境と密接に関わりあいながら事業活動を行っています。そこで、地球に対しての事業活動における環境面の収支を報告する必要があると考え、導入したのが「緑字決算」です。この「緑字(りよくじ)」という言葉は、経済活動の成果を一般的に「黒字」「赤字」と表現することから、環境活動の結果を表現する言葉は何字だろう?と考えた時、環境=緑のイメージから1998年に生まれました。以来毎年、「緑字決算」として宝酒造の環境活動の取り組み結果を公表しています。

緑字決算の定義

原材料の調達から生産、物流、消費後に至るまでのすべてのプロセスで発生する環境負荷の中から重要な環境負荷項目を選定し、その環境負荷の改善度をECO(エコ)という1つの統合指標で表したものです。

緑字決算ECOの算出方法

①「緑字決算」の指標に選定した環境負荷項目はそれぞれ単位が違いますので単純には比較できません。そこで、それぞれの環境負荷の基準年(2013年度)からの改善率(%)を求めることにより単位を揃えました。

②環境負荷の影響度はそれぞれ異なっているので、改善率を単純には平均できません。そのため環境負荷項目に重み付けを行いその「重み付け係数」を掛けて個別ECOを求めた後、その平均をとって統合指標ECOを算出しました。なお、「重み付け係数」の決定にあたってはインターネット上で、約1,000人の方に重要度の順位付けを行っていただきその結果を係数化しました。

$$\begin{aligned} \text{個別ECO} &= \text{項目ごとの改善率} \times \text{重み付け係数} \\ \text{緑字決算ECO} &= \text{個別ECOの平均値} \end{aligned}$$

図3: 緑字決算対象項目選定と重み付け詳細

2016年度の緑字決算は+4.4ECO

容器包装の減量化や省エネ、省資源活動の結果、原料、容器包装、燃料、用水の調達やCO₂、工場排水の排出、リサイクルされない容器包装の排出の項目はプラスECOとなりました。

一方で、製造量の増加に伴う電力使用の増加と動植物性残さや廃プラスチックの増加があり、電力と工場廃棄物はマイナスECOとなりました。

その結果、2016年度の宝酒造全体としての緑字決算は+4.4ECOとなりました。

● 2016年度 緑字決算報告(2016年4月～2017年3月)

	地球環境からの調達					地球環境への放出			
	原材料の調達		資源・エネルギーの調達			大気・水系への排出		廃棄物の排出	容器包装の排出
(単位)	原料 (t)	容器包装 (t)	燃料 (物流を含む) (kl・原油換算)	電力 (千kwh)	用水 (千㎡)	CO ₂ (物流を含む) (t-CO ₂)	工場排水 (千㎡)	工場廃棄物 (t)	リサイクル されない 容器包装 (t)
2016年度	144,507	45,713	38,332	42,077	5,279	107,763	3,862	4,009	11,029
2013年度(基準年)	152,054	49,769	40,385	41,116	5,626	113,466	4,054	3,938	12,617
①改善率(%)	5.0%	8.1%	5.1%	-2.3%	6.2%	5.0%	4.7%	-1.8%	12.6%
②重み付け係数	0.94	1.04	1.07	1.13	0.89	1.08	1.06	1.00	0.78
個別ECO=①×②	4.7	8.4	5.5	-2.6	5.5	5.4	5.0	-1.8	9.8

②の重み付け値は、消費者アンケートにより決定します。
リサイクルされない容器包装=容器包装量×(1-容器包装のリサイクル率)

環境決算 ECO +4.4

図4: 環境データ算出方法 図5: 過去の緑字決算結果 図6: 2016年度の環境会計結果